

合い言葉 「愛共に」「夢大きく」

志比内広場

令和3年10月28日発行 東神楽町立志比内小学校・志比内公民館 第7号

「応援の秋桜」

校長 木末携志



今月5日（土）に志比内っ子発表会が行われました。昨年に続き、新型コロナウイルス感染防止のため、劇や合唱などの演目は発表できませんでしたが、子どもたちは今まで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮しました。よさこいや一輪車や器楽演奏等の全校発表と、学級・学年の発表でもいい表情と態度で発表し、今年も素晴らしい発表会となりました。発表会当日には、お忙しい中たくさんの保護者や地域の方の熱い応援や拍手をいただき、子どもたちも発表会での達成感と自信を得ることができました。誠にありがとうございました。また例年行われている教育大生による発表を今年は ZOOM によるリモートで実施しました。子どもたちは、大学生から楽器についての説明や演奏をスクリーンを通して見て、発表が一旦終わった後もアンコールの拍手を送り、有意義な交流をすることができました。

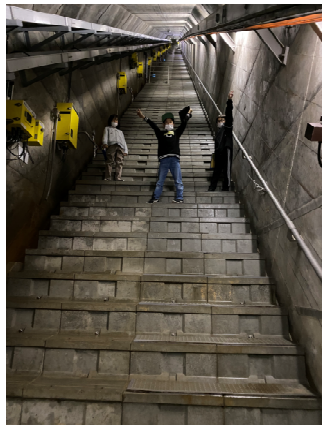


ところで、最近まで志比内小学校の周りの町営住宅のまわりに、赤やピンクや白の秋桜（コスモス）の花が咲いていたのを見かけた人は少ないと思います。私も毎日の学校への行き帰り、背丈ほどもある立派に育った秋桜の花を楽しませてもらっていました。秋桜は外来種のキク科の植物でメキシコが原産です。メキシコからスペインのマドリッド王立植物園に送られ、園長のカバニレスさんによって Cosmos と名づけられたそうです。日本には明治12年にイタリア人美術学校教師のラグザーさんが日本に持ち込み、それが日本全国に伝わっていったそうです。現在は品種改良によりいろいろな花の色や形の秋桜を見ることができます。最近では青や黒の秋桜も出ているそうです。

さて、この学校周りの秋桜ですが、地域住民の方がマラソン大会で頑張る子どもたちを応援しようとマラソン大会のコース内に植えて、大切に育ててくれた花だったので。先日その方と偶然お話する機会がありました。その際に「時々顔を合わせたときにいい挨拶をしてくれる子どもたちを応援したい」という気持ちから秋桜の花を育ててくれたのです。この方のお話を聞いて、子どもたちの良さを認めてくれている地域の方がいることと、子どもたちを心から応援してくれていることに対し、心温まる思いをさせていただきました。また志比内っ子発表会前には、地域の方にグラウンドのトラックを重機を使って整備していただきました。地域のいろいろな方に支えられていることを子どもたちにも話していきたいと思ひますし、今後も地域や保護者の皆さまとの連携をさらに深めながら、子どもたちに充実した教育活動を提供できるよう努力してまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

社会見学

3・4年生が社会の勉強で忠別ダムを見学してきました。事務所で、ダムについて簡単に説明していただいた後、実際にダムの中を見学させてもらいました。エレベーターで地下2階に降りたら、ひんやりとしていました。ダムは水に押されて傾くことがあることや、折れた木などが水門に引っかからないように網をつけていることなどを教えていただきました。子どもたちは、係員の方の説明を一生懸命に聞き、メモを取っていました。



森林教室 PART 2

6月に1回目を行い鉢に苗を植えました。3か月間学校で育て、大きくなった苗を、上川森林管理署の方たちの指導の下、森に植えてきました。木や森の大切さを知り、自然を大切にしてもらえたらと思っています。



～東神楽町福祉作文コンクール～

最優秀賞 森川めぐみさん

「福祉」

優秀賞 海月 義晴さん

「手話について思ったこと」

～旭山動物園児童動物画コンクール～

優良賞 森川めぐみさん



- 11月 1日(月) 全校朝会
- 11月 2日(火)～7日(日)
町内児童生徒作品展
(展示場所：東神楽町図書館)
- 11月 4日(木) 児童会
- 11月 5日(金) 町教育研究大会
午前授業
- 11月 8日(月) 上川へき地複式研究会
実践発表会
午前授業
- 11月 9日(火) 研修日
- 11月10日(水)～12日(金)
草の根教育実習
- 11月15日(月) 児童会
- 11月16日(火) 職員会議
- 11月18日(木) パートナーティーチャー事業
- 11月22日(月) クラブ
- 11月24日(水) 研修日、指導主事訪問

お知らせ

○今年度も、発表会のDVDを貸し出すことにしました。ご覧になりたい方は、学校までご連絡ください。

○夏休みと冬休みについてですが、近年夏の気温が非常に高いことから、現在夏休み・冬休みともに25日間ですが、来年度、夏休み30日間、冬休み20日間に変更する予定です。

○北海道は東神楽町を通る地域高規格道路を建設していますが、その道路に架かる橋につける橋と川の名前を、町内の児童が書いた字を使用することになりました。志比内小の児童は「ポン川」と書きました。その結果、海月義晴さんの字が選ばれました。